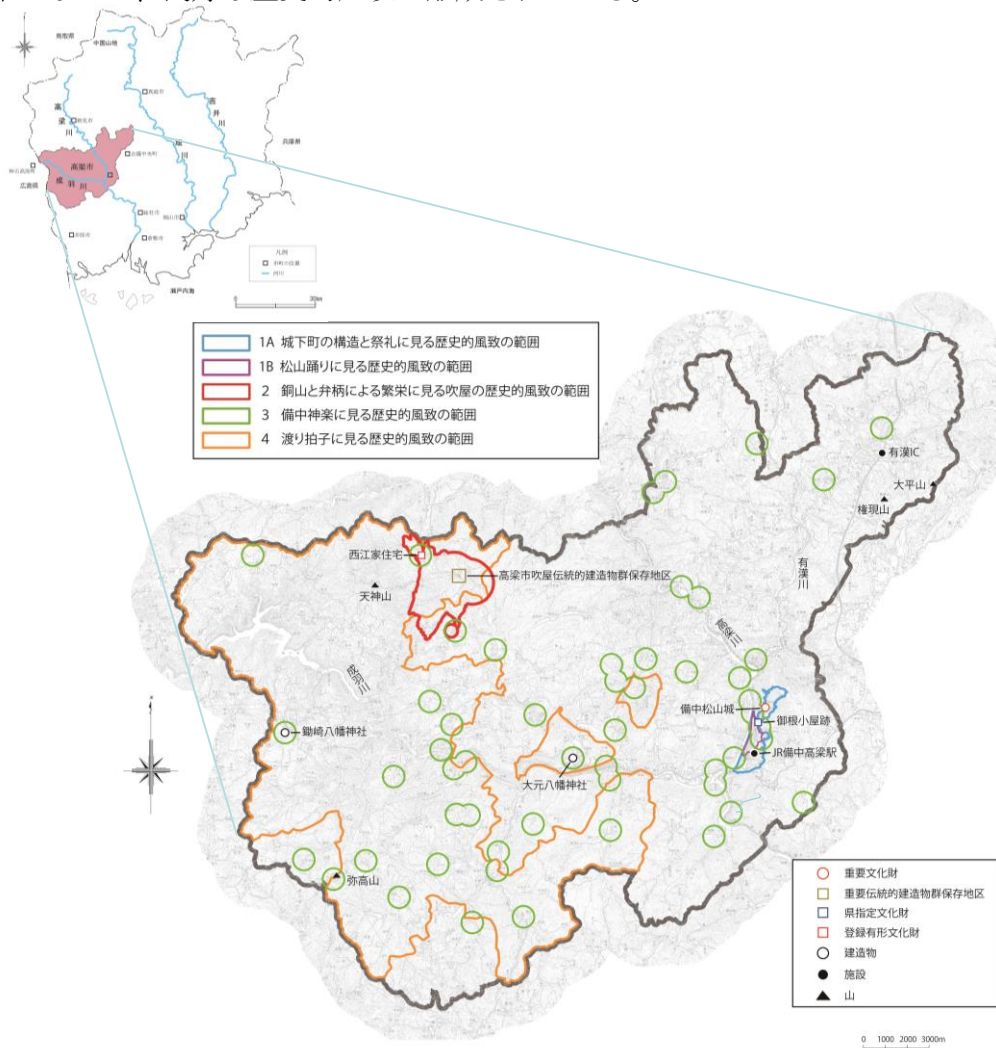


高梁市の維持向上すべき歴史的風致

【計画期間】
令和3年度(2021)～令和12年度(2030)

高梁市は、岡山県中西部に広がる吉備高原に位置し、古来から備中国の中核として栄え、近世では幕藩体制のもとに備中松山藩を中心に発展してきた歴史を持つ。備中松山藩の城下町である市街地には、備中松山城や歴史的な町並みがよく残され、江戸時代から続く神社の祭礼や松山踊りが行われている。銅山と弁柄で繁栄した高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区の吹屋では、赤褐色の瓦で葺かれた屋根、弁柄塗りの格子で統一された立派な町家が道の両脇に並んでいる。また、備中地域を代表する民俗芸能である備中神楽や、豊作と無病息災を祈り秋祭りで奉納される渡り拍子が受け継がれ、歴史的建造物と一体となって、良好な歴史的風致が形成されている。



高梁市の歴史的風致位置図

1A. 城下町の構造と祭礼に見る歴史的風致

備中松山藩の城下町として発展した高梁は、江戸時代に整備された町割りや歴史的な町並みを形成する建造物がよく残っている。その町並みの中に御前神社、八幡神社の神輿や千載楽が巡行し、七恵比寿などの民間信仰が今なお伝えられている。

神社の神輿巡行▶



1B. 松山踊りに見る歴史的風致

松山踊りは、城下町高梁で江戸時代前期から約370年継承される盆踊りである。踊りは、町人に踊らせた地踊り、昭和前期に定着したヤトサ、武士の踊りであった仕組踊りの3種類があり、歴史的な町並みを背景に踊られ、夏の風物詩となっている。

松山踊り▶



2. 銅山と弁柄による繁栄に見る吹屋の歴史的風致

吹屋は銅山と弁柄で繁栄してきた地域である。重要伝統的建造物群保存地区の特徴的な赤い町並みをはじめ、銅と弁柄に関連した歴史的建造物と、秋季例祭や渡り拍子などの祭礼、弁柄を使用した営みが受け継がれている。

高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区▶



3. 備中神楽に見る歴史的風致

重要無形民俗文化財の備中神楽は、鎮魂行事として始まり、江戸時代後期に福地（現落合町福地）出身の成羽の神官西林國橋によって、演劇性の高い神代神楽が創作され、備中地域に広まった。今でも市内の神社などで奉納され、地域の代表的な民俗芸能として受け継がれている。

備中神楽▶



4. 渡り拍子に見る歴史的風致

渡り拍子は、岡山県西部の農村地域で豊作と無病息災を祈り、秋祭りの供奉楽として広く行われてきた民俗芸能である。本市では、高梁川より西部地域で行われている。神輿とともに地域を跳ねるように踊りながら巡る渡り拍子は、秋祭りに欠かせない行事となっている。

渡り拍子▶



高梁市の重点区域における施策・事業概要

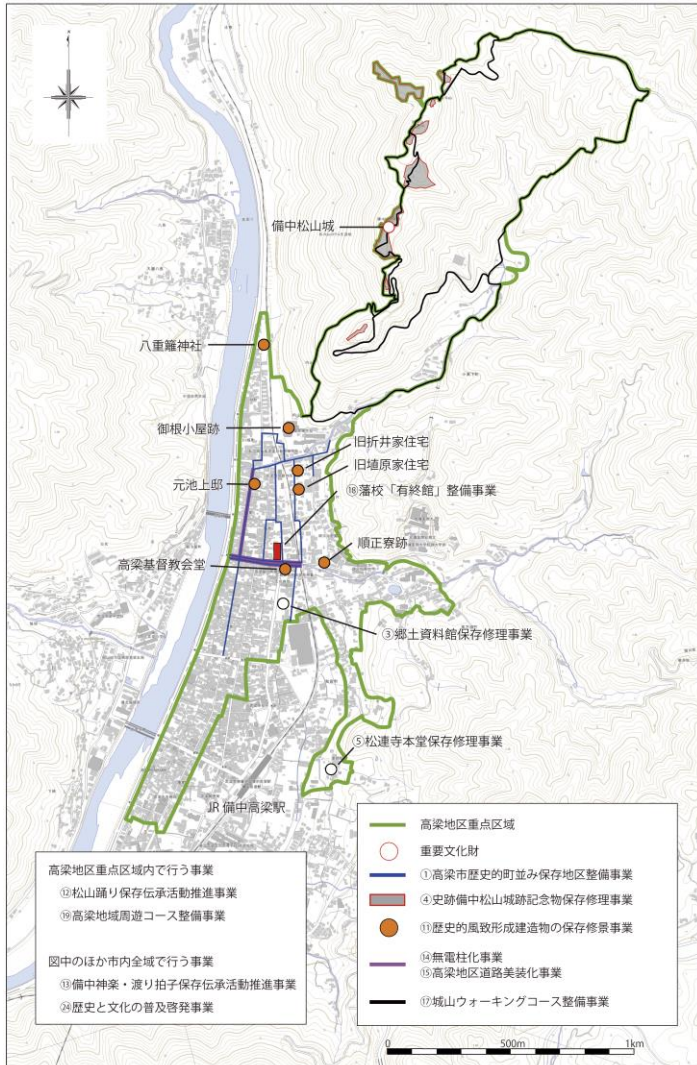
【重点区域の名称と面積】

- (1) 高梁地区重点区域 約160ha
- (2) 吹屋地区重点区域 約600ha

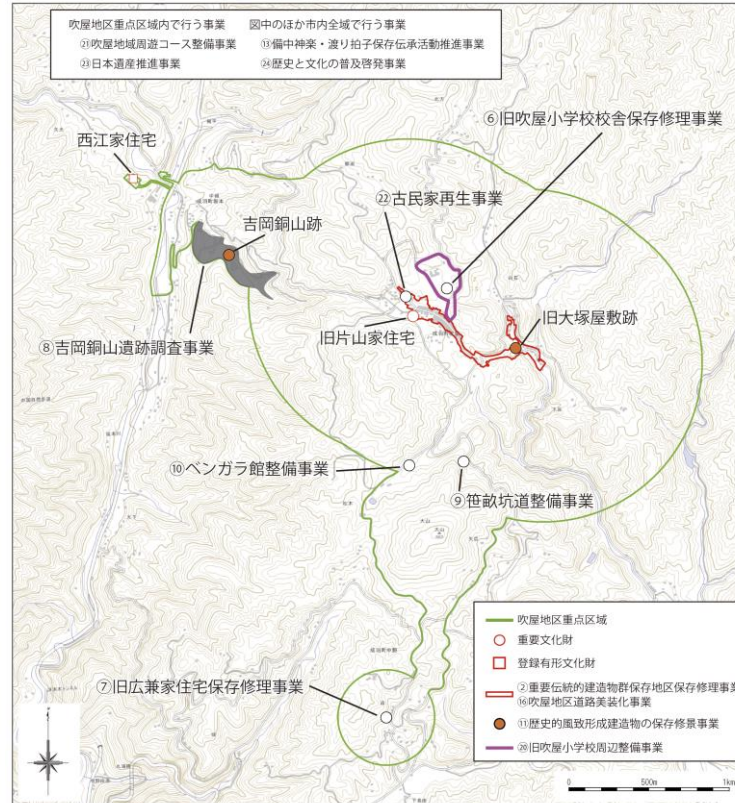
重点区域は、重要文化財やその他の文化財、町家などの歴史的建造物を背景に、人々の営みが今も行われ、高梁市特有の風情・情緒を醸し出す良好な市街地環境や景観を形成している高梁地区、吹屋両地区の2箇所とする。重点区域では、文化財や歴史的建造物の保存修理、修景、日本遺産を活用した事業を推進し、町並みの保全と地域の活性化を図る。また人口減少や少子高齢化に伴う民俗芸能の後継者不足などの課題解決のため、保存伝承に資する活動を補助し、歴史的風致の維持向上を図る。

重点区域および施策・事業

(1) 高梁地区重点区域(約160ha)



(2) 吹屋地区重点区域(約600ha)



市内全域で実施する事業

⑬ 備中神楽・渡り拍子伝承活動推進事業

高梁市に伝わる民俗芸能「備中神楽」、「渡り拍子」の保存伝承活動にかかる経費や活動用具の整備などに市が財政的支援を行う。また備中神楽は、技術の研鑽を目的とした研修会を実施する。



備中神楽研修会

高梁地区重点区域の事業

① 高梁市歴史的町並み保存地区整備事業

城下町の歴史的な町並みを形成している建造物が残る路線を歴史的町並み保存地区に設定し、その沿線の建造物の外観などの保存修理・修景整備を行い、歴史的な景観の保全と向上を図る。



歴史的町並み保存地区

⑭ 無電柱化事業

歴史的景観が残る本町、紺屋川通りの無電柱化の整備によって、交通の安全確保と城下町の歴史的町並みの調和を図る。



本町の無電柱化イメージ

吹屋地区重点区域の事業

② 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業

高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区内の町並みを構成する伝統的な建造物の保存修理に対する財政的支援を行う。



伝統的な建造物が建ち並ぶ吹屋の町並み

⑫ 古民家再生事業

高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区内において、空き家を宿泊施設等に改修することで、空き家の解消や地域の活性化を図る。



事業例：町家ステイ吹屋 千枚

⑲ 日本遺産推進事業

「ジャパンレッド」発祥の地として、令和2年6月に日本遺産に認定された吹屋の歴史的な文化遺産を国内外に発信し、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図る。



日本遺産に認定された吹屋の町並み